専　門　教　養
令和 7 年 7 月
60分

受　験　教　科　等
中・高等学校共通　**国　語**

注　意

1　指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。

2　全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。

3　机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。

4　他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器の使用及び不正行為をしてはいけません。

5　解答時間は60分です。途中退出はできません。

6　問題冊子のページ数は、19ページです。はじめにページ数を確かめてください。

7　解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の**【1】の欄には、受験番号を記入**し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。**【2】の欄には、氏名を記入**してください。ただし、**【3】の選択問題を表す欄のマークは不要**です。

8　問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。

9　問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。

10　問題の内容についての質問には一切応じません。

解答上の注意

1　解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。

2　「解答番号は 1 。」と表示のある問に対して、**3**と解答する場合には、次の（例1）のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

（例1）

解答番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。

一

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

（船木亨『差異とは何か――〈分かること〉の哲学』から作成）

〔問 1〕 傍線部(1)「　　」とはどういうことかを説明したものとして最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は 1 。

1 〈いま〉の絶えざる繰返しは、存在する事物であり、生成しては消滅し、切れ目なく同じものが再生しているということ。

2 筆者自身が、日常の〈いま〉を何千何億回と経験しており、この経験が永遠に続いていくということ。

3 あらゆる出来事が同じ順番で、永遠に繰返し起こるような世界像が、「同一物の永遠回帰」であるということ。

4 場面の変化を写真によって示したとき、あとの写真は、そのまえの写真のあとだからこそ成り立つということ。

〔問 2〕 傍線部(2)「　　」とあるが、「　　」するとはどういうことかを説明したものとして最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は **2** 。

1 時間の中に、映像のような、過去、現在、未来の澱みない滑らかな流れを見いだすということ。

2 過去と現在と未来の継起の頻度が、より小さな間隔になるよう見いだすということ。

3 スローモーション映像を高速化して、変化や運動の細部を見いだすということ。

4 変化を含まず時間線に沿ってぎっしりと埋め込まれた時間原子の列がさきに進むことができるような、ごくわずかな間を見いだすということ。

〔問 3〕 傍線部(3)「　　」とあるが、その理由を説明したものとして最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は **3** 。

1 コンピュータに時計が内蔵されているように、宇宙の諸現象は相対として一定のリズムにあわせて変化しているため、宇宙の諸現象相互の比を全て確定することができるようになったから。

2 ガリレイやピタゴラスは、ありとあらゆる現象は、自然の中で変化と運動を繰り返しており、速さと遅さを割りふる基準のようなものはないと確信して証明してきたから。

3 〈いま〉の中に精密に区分された時計の示す時間を設定することが常識になったため、変化や運動を、二つの類似した物体の形状や位置の差異を与える変数 t の関数に置き換えるようになったから。

4 同じ長さの振り子はその周期が一定であるとして、振り子の振れの回数を比較することで、諸現象の時間の経過を比較し、諸現象の変化や運動の時間経過に、それぞれの比を見いだすことができると考えられるようになったから。

〔問 4〕 傍線部(4)「

」とあるが、その理由を説明したものとして最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は **4** 。

1 速度は相対的にしか決まらず、われわれは振り子の一周期ごとの時間が同じかどうかをいうことのできるような基準をもっていないから。

2 人間の知覚では一度に一つの現象しか認識することができず、自分が生まれる以前と死んだあとのそれぞれの〈いま〉を比較するようなことはできないから。

3 時間は、映像装置の仕組のようなもので、われわれの無数の知覚が入れ替わり続けているものであるから。

4 時間が経つから現象が変化するという考え方ではなく、現象が変化するから時間が経つという考え方が常識であるから。

二　次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

私は、今の住居に住んで七年になる。私は、子供たちが幼い頃に亡くした母親の代わりを務めながら、四人の子供たちを育ててきた。私は、五十歳を過ぎた頃に病気をして以来、病弱になった。太郎は私の勧めで農業の見習いを始め、家を出て独立し、次郎と三郎は洋画研究所に研究生として通い、末子は亡くなった母親に似てきた。

（島崎藤村『嵐』から作成）

〔問 1〕 傍線部(1)「　　」とあるが、「　　」を説明したものとして最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は **5** 。

1 太郎は、田園の生活を楽しみながらも時には生活が苦しく涙ぐむことがあり、父に郷里に来て手伝ってほしいと願っている。

2 太郎は、自分勝手に好きな生活をしている自分を叱りもせず、逆に励ましてくれる父に対して、今まで感謝を伝えられなかったことを悔やんでいる。

3 太郎は、新しい生活に入ったことで、もう決して父に会うことができないことを悟って、悲しみに暮れている。

4 太郎は、長男として父の側に長くいたことから、父への親しみを思い起こしながらも、新しい生活を始めるために奮闘する覚悟をしている。

〔問 2〕 傍線部(2)「　　」とあるが、その理由を説明したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 6 。

1 外出している間に風雨が強まっても、子供たちを守れるだけの家から近い距離に居続けようと決心したから。
2 坂道の方まで歩いたとしても、毎年のように眺めることができた椿の花を、もう眺めることができなくなってしまったから。
3 病気以来、近所を散歩するだけで満足するようになり、家のことが気に掛かってくるのが癖のようになってしまったから。
4 子供たちの三時のおやつのために、林檎と菓子を袋いっぱいに買い、両手に提げているから。

〔問 3〕 傍線部(3)「　　」とあるが、その理由を説明したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 7 。

1 次郎と三郎が、絵画において全く違う資質をもっており、互いに意識し合っていることを知っているから。
2 絵画の技量において次郎に劣っている三郎が、兄である次郎に対して対抗心をもっていることを知っているから。
3 仲の良い兄弟であった次郎と三郎が、父の歓心を得るために、反目し始めたことに気付いたから。
4 次郎が末子を題材にした絵を描いたことで、家にいる三人の兄妹の中で三郎だけが疎外され始めたことに気付いたから。

〔問 4〕 傍線部(4)「　　」とあるが、「　」からこの話をされたときの「　　」の様子を説明したものとして最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は **8** 。

1 都会への去りがたい魅力と、父の側を長く離れることへの不安を感じており、何かと父を頼ろうとしている様子。

2 いつまでも都会に居続けるのか、田舎で太郎の手伝いをしながら画を描くのかについて、静かにじっと深く考えている様子。

3 東京で画家として大成できないことを悟り、東京から田舎に引っ越す予定を思案している様子。

4 父から自分の絵画の批評がもらえなくなったことに落ち込んで、それでもなお、父からの一言を待ち望んでいる様子。

三　次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

（『十訓抄』「新編日本古典文学全集」から作成）

〔問 1〕 傍線部(1)「　　」とはどういうことかを説明したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 9 。

1 素晴らしかったのは昔だけだと思って、世間の流れに大きく逆らって現代の世に合わせようとしないで、平気で振る舞っていること。

2 内々には、もう十分に親しくなっているのだからと思って晴れの席に出ていき、人と馴れ馴れしくしたり、人々が遊び興じているところに自分はうちとけずにまじめくさっていたりすること。

3 人々が遊び興じているところに割り込んで、酔った勢いに任せて人を叱りつけたり自分の命令に従わせたりして、その場の興をさましてしまうこと。

4 晴れの日の酒宴に人を呼び集めておきながら、皆がうちとけて遊ぶ頃には、自分だけ泥酔して服を乱れさせて、人をしらけさせてしまうこと。

〔問 2〕 傍線部(2)「　　」の解釈として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 10 。

1 今の時代は大きく変わって、風流を愛する振る舞いというのもほどほどであって、風流を愛する振る舞いに深く心を入れ、心のままにまかせるなどということは、もはや大げさと思われるのである。

2 今の時代は大きく変わって、風流を感じるような物事などいくらでもあるので、風流を感じる物事にこだわり、執心している人が、そこかしこに見られるのである。

3 今は時代が移り変わり、風流を愛する人もそれほどいなくなったというのに、風流な物にばかり夢中で、上の空になり、奇異の目で見られていることにも気付かないのである。

4 今は時代が移り変わり、風流を感じるような物事もなくなったので、風流を感じるような物事が消えていくのを寂しく思うなどして、心を痛めている人も、ほとんど見られなくなったものである。

〔問 3〕 傍線部(3)「　　」とあるが、この理由を説明したものとして最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は **11** 。

1 心が狭く、自分のことしか考えない振る舞いばかりしていると、世の中の流行を理解することができなくなり、人と話が合わず後悔することになるから。

2 驕りの気持ちがもとで、思慮が足りないことから起こる出来事によって、ついには自らの人生を無駄にし、深い後悔に沈むことがあるから。

3 人は皆、我が身をとても心配して、昔の素晴らしかったと懐かしく思う物に、心が強く惹かれてしまうものだから。

4 ある経典には、「貧しい者を心の師としてもよいが、豊かに富み栄える者を心の師としてはいけない」と書かれているから。

〔問 4〕 傍線部(4)「　　」の解釈として最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は **12** 。

1 自身が失態を冒したときでも、福徳を授かることがあるから、よく冷静さを保ち、最初から穏やかな気持ちを大切にしていきたい。

2 自身の失態につけても、福徳を授からないような行動につけても、事態をしっかりと収めれば、まずは穏やかな気持ちになるだろう。

3 身分が高く上り詰めたとき、福徳の重さが見合っていなかったとしても、よく落ち着いて、穏やかな気持ちを優先するのがよい。

4 身分が高く上っていくにつけても、福徳の重さが増していくにつけても、よくよく心を静かにし、控え目で落ち着いた心というものを第一にしなくてはいけない。

四　次の文章を読んで、後の各問に答えよ。（設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。）

（『列子』「新釈漢文大系」から作成）

〔注〕壺丘子……人名。列子の師匠。
禦寇……壺丘子が弟子の列子をさして言った語。
眡……「視」と同じ。

〔問 1〕 傍線部(1)「　　」の解釈として最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は **13** 。

1 触れる物がすべて古い点にある。
2 新しい物には決して触れられない点にある。
3 接する物に古いものがない点にある。
4 古くて価値のある物に触れられる点にある。

〔問 2〕 傍線部(2)「　　」を「　　」と解釈するとき、これに返り点を付したものとして最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は **14** 。

1
2
3
4

〔問 3〕 傍線部(3)「　　」とあるが、壺丘子がこのように述べた理由として最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は **15** 。

1 列子が、他人の考えには自分にはない新たな発見があるものと期待し、自分の考えは期待するほどのものではないと思い込み、他人の意見を聞いてばかりで、自分の主体性を見失っているから。
2 列子が、外見が古くならないようよいものを買いそろえて、自分を着飾っていることを知られないよう社交に努め、外見や肩書きだけで他人を判断しようとして、他人の内面を見ようとしていないから。
3 列子が、自分自身が常に変化することにばかり熱心になって、外界も変化していることを見落とし、自分が成長することだけを考えていて、外界の美しさに気が付いていないから。
4 列子が、外界の変化するものにばかり接して、自分自身も変化していることに気付かず、外に出歩くことに一生懸命になって、自分自身を見つめることを忘れているから。

〔問 4〕 傍線部(4)「　　」とあるが、壺丘子がこのように述べた理由として最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は **16** 。

1 出歩くことの極致は、どこかへ行こうなどという意識を一切もたないことであり、見ることの極致は、何かを見ようなどという意識を一切もたないことだと考えているから。

2 世間一般の人々は遊び歩くときに目に映るものを眺めるだけであるが、外界の事物が常に新しく変化していることに注目することこそ、出歩くことの真の楽しみ方だと考えているから。

3 若い頃にたくさん出歩いて多くの物事を見ることを心掛けてさえいれば、年をとってからでも新鮮な気持ちで自然を見ることができるようになると考えているから。

4 見ることの極致は、外のものを見ることではなく自分の内面に目を向けることであり、最上の出歩きは、自分が心から行きたい場所に行くことであると考えているから。

五

次の各問に答えよ。

〔問 1〕 次の文中のカタカナを漢字に直したとき、傍線部に使用される漢字と同じ漢字を波線部に含むものとして適切なものは、後の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は 17 。

注文がサットウする。

1 ある作家にケイトウする。
2 タントウチョクニュウに質問する。
3 結論にトウタツする。
4 ケントウを加える。

〔問 2〕 「侃侃諤諤」の意味として最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は 18 。

1 周りに遠慮しないで、率直に正論を主張して議論すること。
2 外見はやさしく見えるが、心の中はしっかりしていること。
3 邪道・邪説を説き伏せ、正義・正道を世の中に広めること。
4 遠い将来のことまで考え深く計画を巡らすこと。

六

学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 中学校学習指導要領国語の「各学年の目標及び内容」の〔第2学年〕の「目標」に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は **19** 。

1 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。

2 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

3 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

4 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

〔問 2〕 高等学校学習指導要領国語の「各科目」の「論理国語」の「目標」に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は **20** 。

1 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

2 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

3 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

4 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

3　問題文中の [2] 、 [3][4] などの [　] には、数字又は符号（−）が入ります。次の(1)～(4)の方法でマークしてください。

(1)　[2] 、 [3] 、 [4] 、……の一つ一つは、それぞれ１～９、０の数字又は符号（−）のいずれか一つに対応します。それらを [2] 、 [3] 、 [4] 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 [2][3][4] に −84 と解答する場合には、次の（例２）のようにマークします。

（例２）

解答番号	解答欄
2	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ●
3	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⓪ ⊖
4	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ⊖

なお、同一の問題文中に [2] 、 [3][4] などが２度以上現れる場合、原則として、２度目以降は、 [2] 、 [3][4] のように細字で表記します。

(2)　分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、$\dfrac{[5][6]}{[7]}$ に $-\dfrac{4}{5}$ と解答する場合には、$\dfrac{-4}{5}$ として、次の（例３）のようにマークします。

（例３）

解答番号	解答欄
5	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ●
6	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ⊖
7	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ⊖

(3)　小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⓪にマークしてください。

例えば、 [8].[9][10] に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4)　根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

問題番号			解答番号	正答	配点	備考
大問	小問					
一	問1		1	4	5	
	問2		2	2	5	
	問3		3	4	5	
	問4		4	1	5	
二	問1		5	4	5	
	問2		6	3	5	
	問3		7	1	5	
	問4		8	2	5	
三	問1		9	2	5	
	問2		10	1	5	
	問3		11	2	5	
	問4		12	4	5	
四	問1		13	3	5	
	問2		14	1	5	
	問3		15	4	5	
	問4		16	1	5	
五	問1		17	3	5	
	問2		18	1	5	
六	問1		19	3	5	
	問2		20	2	5	